



女性社員向けヒント集

POSITIVE
ACTION

ポジティブ・アクション



厚生労働省・女性の活躍推進協議会



さあ、踏みだそう！満足できる働き方・生き方をするために

様々な職場で女性が働くことが当たり前になってきました。それでも、女性のキャリアアップには、まだまだ困難なことがたくさんあります。まだ社内に活躍している女性の先輩が少ないため、イメージがつかないという人もいるでしょう。将来のキャリアビジョンが描けず不安を抱えていたり、昇進へのチャレンジを躊躇していませんか？

本書には、企業の中で活躍している管理職・リーダーの女性や、キャリアを積んできた女性たちが、結婚や出産、異動や昇進をどのように受けとめてチャンスとし、決断してきたかといったエピソードや、仕事に関する疑問や不安の解消法、能力を発揮するコツなど、働く女性の生の声を掲載しています。生き生きと働く彼女たちのメッセージからヒントを見つけ、新たな未来の選択と活躍にむけて「チャレンジ」してみよう！

ポジティブ・アクションとは

固定的な男女の役割分担意識や過去の経緯から、営業職に女性はほとんどいない課長以上の管理職は男性が大半を占めている等の差が男女労働者の間に生じている場合、このような差を解消しようと、個々の企業が行う自主的かつ積極的な取組をいいます。

ポジティブ・アクション
普及促進のための
シンボルマーク「きらら」



POSITIVE ACTION

CONTENTS

- ◎ さあ、踏みだそう！
満足できる働き方・生き方をするために01
- ◎ 女性管理職からのメッセージ
 - オムロン株式会社 石井 志呂美04
 - 株式会社資生堂 関戸 由美子05
 - 株式会社日本色材工業研究所 佐藤 晴世06
 - 中部電力株式会社 石川 民子07
 - ソニーマーケティング株式会社 石渡 裕江08
 - 株式会社ベネッセコーポレーション 渡辺 冬美09
 - イオン株式会社 羽生 有希10
 - 株式会社キュービタス 久米 麻里子11
 - 株式会社みずほ銀行 小田垣 春美12
 - 株式会社HR インスティテュート 内田 友美13
- ◎ 女性管理職「私のこだわり一日スケジュール」14
- ◎ ノンフィクション作家 小松成美からのメッセージ15
- ◎ 先輩社員からのメッセージ
 - オムロン株式会社 福田 志帆18
 - 株式会社資生堂 佐藤 三由樹19
 - ソニー株式会社 山本 祐歌20
 - 株式会社日本色材工業研究所 柴田 さおり21
 - 中部電力株式会社 小林 亜希子22
 - 株式会社ベネッセコーポレーション 奥井 紗智子23
 - 株式会社未来屋書店 後藤 君子24
 - 株式会社キュービタス 大阿久 恵麻25
 - 株式会社みずほコーポレート銀行 橋井 由香26
 - 株式会社アテナ 井川 暁27
- ◎ 先輩社員「私のこだわり一日スケジュール」28
- ◎ 仕事に対する姿勢チェックシート29
- ◎ 女性の活躍推進協議会30



POSITIVE ACTION

女性管理職からのメッセージ 01~10



女性管理職からのメッセージ 01

オムロン株式会社
マイクロデバイス事業部 営業推進部 営業課長
石井 志呂美

与えられた仕事はすべて「チャンス！」
でした。チーム力で自己実現できる
ことが、管理職の喜びです。

「半導体」を軸にしたキャリア
プロセス。目の前の波をとらえて、
前向きに乗る。

— 入社以来、半導体に携わってお
られますね？

営業補助の事務職として10年間働いて
いるうちに、「何か手に職をもちたい」と
いう気持ちが強くなりました。そこで
「よし、こちらでやってみよう！」と決意し
て東京に転勤し、半導体の回路図をCAD
でトレースする仕事から始め、やがて自分
で回路図を描けるようになりました。5年
半を過ぎた頃、その仕事が終了すること
になり、次の配属先の希望を聞かれました。
そのとき「私は半導体が好きだ。これから
もずっと半導体に関わっていきたい」と
強く思ったのです。そこでそのような希望
を出した結果、半導体の営業職を与えら
れ、それからずっと半導体営業をしていま
す。現在の事業が立ち上がるときに滋賀県
の野洲に転勤の辞令が降りました。初めて
の関西勤務でしたが、メインの事業部へ
の転勤でもありましたし、躊躇はありません
でした。

こういうふうに戻ると、いつも目の前
に来た仕事にチャンスを感じ、それに真摯
に積極的に取り組むということが、私の
キャリアの積み方だと言えるかも知れま
せん。もちろんことあるごとにチャンス
を与えてくれた上司に恵まれたことも大き
いですし、今や売上げのかなりの割合を
占めるまで成長し、会社の主力事業を

下支えする半導体の仕事を手がけてきた
という幸運もありましたが。

チーム力でやりたいことができる
喜び。次は、経営者の立場で考えら
れる管理職に。

— 管理職としての醍醐味は何でしょう？

やはり裁量権があることでしょうか。管理
職になって、「思うようにやってごらん」と
言ってもらえるようになりました。その
結果、改めて「仕事は自分で創るもの。創っ
た仕事にはやりがいがある」と感じていま
す。チーム力を使えるようになったことも
大きなメリットです。自分のしたいことを
部下の力を借りて実現できるようになりま
した。それは言い換えると、高いレベルで
自己実現できるようになったということ
でもあります。

— 今後のステップアップのために、
設定している課題はありますか？

大きく2つあります。ひとつは経営者の
立場で数字を見て、その改善を意識して
仕事や職場管理に取り組むということ。
ふたつめは会社のグローバル化に対応す
るために、もっと語学力をアップさせる
ことです。後者については、3ヶ月のリフ
レッシュ休暇を利用して集中レッスンを
受けたりもしたんですよ。



PROFILE

事務職として入社後、約10年にわたり埼玉県・
大宮の営業所で半導体営業所にて半導体
営業補助を務める。11年目に総合職に転換。
その後、東京へ転勤し、半導体設計を手がけ
る。その後、半導体の営業職となり、2005年
より半導体をメインとする滋賀県の事業部へ
異動し、現職。現在は10名の部下をもつ。

後輩女性へのアドバイス

● 社内に広くネットワークを広げて
チャンスを逃さない

まず、仕事以外に興味でも習慣でもいい
ので、何かひとつ細く長く続けるもの
をもつこと。それがあればリフレッシュ
できて、ひいては仕事も楽しくなります。
次に、会社内に広くネットワークをもつ
こと。そうすると、さまざまな情報を得ら
れるし、引き立ててもらえる機会も増え
ます。そして女性らしく、でも決して女性
であることに甘えないで頑張ってください。

女性管理職からのメッセージ 02

株式会社資生堂
CSR部 課長
関戸 由美子

考え込む前に、やる。 場数を踏めば、なんだってできる ようになるものです。

**あんな風になりたいと思ったのが、
全てのはじまりだった。**

— 幼い頃から資生堂に憧れていた
とのことですが

実家が半世紀以上前から化粧品店を営んでおまして、幼い私の遊び場は店先でした。そこには、いくつかの化粧品メーカーの営業や美容部員など、様々な「おとな」が訪れ、よく遊んでくれたのです。子どもはよく人を見ているものですね。「資生堂のお兄さんやお姉さんは、他のおとなと違う。何だか素敵だ」なんて、幼いなりに感じていました。就職を視野に入れる年齢になった時、真っ先に思い出したのは、「資生堂に入ったら、素敵なおとなになれるかな」という幼い頃の記憶でした。言ってみれば、子どもの頃からの一途な思いだけで、入社試験に挑んだわけです。

— CSR部の管理職に就任されたのは
2年前ですが、一番のやりがいを教えてください。

現在の仕事内容は、社員の社会活動参加の機会提供をする「資生堂社会貢献くらぶ」の運営企画です。「社会貢献くらぶ」は、



「社会貢献くらぶ」について社員に案内

社会の役に立ちたいけれど、何をしたらいいかわからないという社員のために、「寄付」「ボランティア活動」の2本柱の社会貢献活動メニューを提案しています。「お金をあげっぱなし」にするのではなく、「どういう活動を支援するのか」「その支援成果はどうだったのか」などを団体さんと協働で社員にフィードバックする役割も担っています。寄付に協力してくれた社員が貢献度を実感し喜んでる姿を、部下が励みにしているのを見ると、やっていて良かったなと思いますね。

**部下の小さな変化も逃さないため、
体全体を耳にして見守る。**

— 人の上に立つ者として、難しいと感じ
ることはありますか。

人事部に長く所属していましたので、マネジメントを学ぶ機会は山ほどありましたが、CSR部に異動し実務を経験すると、やはりシミュレートしていたものとは、かけ離れていました。部下たちは、私と年齢も似たり寄ったりで、キャリアも長い方が多いので、それまでの道のりを尊重しつつ、未経験なことにも気持ちよくトライしてもらおうアプローチをしなければならぬのですが、これが意外と難しい。やらされ感ではなく、本人が主体的にやる気になるのを励ましなが待つといった感じです。

— どのようにして打開されたのですか。

初めは納得いかない様子だったとしても、近くに寄り添い、話をとことん聞くことで、



PROFILE

入社後、推販部において研修企画と幹部秘書を務める。広報部を経て19年目に人事部へ異動し、参事、課長に昇進。採用・社内啓発や資生堂の理念伝承プログラム企画等を担当し、29年目にCSR部へ異動、現職。

本人から気持ちを切り換えてくれることもあります。大切なのは、日頃から部下を見守るだけでなく、実際に声をかけるということです。気をつけて情報収集していると、様々な変化に気がつくことがあります。最近うまくいってないな、とかそういうことも。私のグループのメンバーは全員女性なので、特に気を使って声をかけるよう心掛けています。

後輩女性へのアドバイス

● **考え込む前にまず体を動かす**
夢を持つことは素晴らしいのですが、夢が大きければ大きいほど、挫折してしまう人も多いのでは。夢への距離が遠いということで腐るのではあまりに勿体ないですね。目標があるのなら、とにかく場数を踏むことです。立ち止まる暇があったら、手を、足を、体を動かす。石の上にも三年…なんて頑張っていれば、自分が思っている以上に成長できているものです。

女性管理職からのメッセージ 03

株式会社日本色材工業研究所
営業部 商品企画チーム リーダー カラーコーディネーター
佐藤 晴世

管理職として働くと 自分で決断できることが多くなります。

**企画を希望していたが、
ステップアップの一步として営業職へ**
— 現在の会社へは転職されての入社
ですが、入社を教えてください。

新卒で化粧品メーカーに入社し研究や商品企画の仕事をしていましたが、他の世界を見てみたくなかったです。転職を決めた理由は、社長の人柄にひかれたことと、自分のやりたい企画の仕事が大きな化粧品メーカーに比べて1から10まで自分の手でできると思ったからです。

— 入社されてからの職歴を教えてください。

最初は営業部で海外への提案営業を行い、一昨年の秋より商品企画チームのリーダーとして働いています。お客様から依頼のあった商品を受託製造するのが当社の中心業務ですが、商品企画チームでは、営業が売り込んで、お客様に気に入っていただけるような新しい製品を企画・開発しています。

— もともと企画を希望されていて、
営業部で働くことに抵抗はなかったで
しょうか。

商品企画の部門を立ち上げるにはもう少し時間がかかりそうだったので、自ら志願して営業を希望しました。お客様が望んでいることを知らなければ、いい企画は生まれませんし、新しいことにチャレンジするのもステップアップには必要だと感じていました。

**さらに上のポジションで
組織を動かしてみたい**

— 現在は商品企画チームのリーダーと
してお仕事をされていますが、管理職と
してやりがいをを感じるのはどういうところ
でしょうか。

マネジメントだけでなく、現場の仕事も多いのですが、ポジションが上がると自分で決断できることが増えるのは面白いと思います。ただ、現在は中間管理職の立場ですから、部下からの不満があっても自分の権限だけで決められないこともあります。当社では部長や役員に女性を増やす動きがあるので、組織を動かせる立場になりたいという気持ちはあります。

— 職場でのコミュニケーションで心が
けていることはありますか。

いつも笑顔で心がけています。笑ってごまかすという方法もあります(笑)。また、問題が起きたときは一人で抱え込まず、できるだけ早く周りに助けを求めようとしています。じつは問題が起きていないときや問題が何かわからないときの方が不安は大きいですね。たとえばクレームが



PROFILE

新卒で入社した化粧品メーカーで、研究職を経て商品企画担当として企画開発に従事。その後、(株)日本色材工業研究所へ入社し海外営業を15年間担当。後に商品企画チームへ異動し、現職。

あったときなど、問題がはっきりしている
ほうが解決しやすいですから。

— 今後の働き方で、目指している将来
像はありますか。

自分のステップアップだけを考えるのではなく、これからは若い社員が頑張ってくれるように指導し、育てていくのがやるべき仕事なのではと感じています。自分の代わりに、部下に仕事を任すことも増えました。

後輩女性へのアドバイス

● **仕事の継続がスキルを活かす**
やりたい仕事を目指して入社しても、利益を上げるためにはやりたくない仕事だってしないといけません。会社は甘くないんです。だからといってすぐに辞めてしまうのではなく、最初はやりたいことが1/3でもできればいいと考え、それを心の支えにして頑張ってもらいたいですね。スキルという“道具”は大事ですが、道具だけもっていてもダメなのです。仕事を長く続けていくことでその“道具”をうまく使いこなせるようになると思います。